

誰もが楽しめるスポーツ



障がいのある方とない方が一緒に楽しめる、そんなスポーツを知っていますか？
それがアダプテッドスポーツです。パラリンピック種目にあるようなトップアスリートが競い合うものもあれば、レクリエーションの要素が強いものまであります。まだ聞きなれない方が多いかもしれませんが、今月号では、このアダプテッドスポーツとそれに対する市の取り組みを紹介します。アダプテッドスポーツを理解して、一緒に楽しみませんか。



アダプテッドスポーツって？

6月27日(土)、アダプテッドスポーツを体験してもらうイベントが北海道教育大学岩見沢校で行われ、約800人の方々が参加し、13種目を体験しました。

そこで、同校アダプテッドスポーツ研究室の大山祐太講師にアダプテッドスポーツについてお話を伺いました。

池崎大輔選手に 聞きました!



北海道 Big Dippers 所属
北海道岩見沢高等養護学校卒業
池崎大輔選手

- Q 今回、北村自然体験宿泊学習館「ぱる」で合宿した理由は?
- A 自分が普段、北村トレーニングセンターで練習していて、北村にあるこの施設を知ったのがきっかけです。また、北海道教育大学岩見沢校では、医学的なトレーニングができます。パラスポーツ(障がい者スポーツ)のアスリートはそのようなトレーニングにまだ踏み出していないので、今回、他の選手にも体験して欲しいと思って合宿に来ました。
- Q 岩見沢市が2020年東京パラリンピックの合宿を誘致していることについてどう思われますか?
- A 北海道教育大学という、素晴らしい体育館とトレーニング環境が整っていて、運動施設には恵まれていると思います。ただ、個人スポーツにしても団体スポーツにしても、競技団体が共に生活できる宿泊施設がないので、段差の無い浴室や部屋などが整うといいと思います。
- Q 2020年東京パラリンピックに向けての意気込みは?
- A まず、2016年リオデジャネイロ・パラリンピックでいい結果を出して、パラスポーツの流れを東京に持ってきてほしいと思っています。東京で多くの皆さんに見てもらえるように、パラスポーツの魅力、素晴らしいところをもっともっと知ってもらって、パラスポーツの普及につなげていきたいです。



大山祐太講師に 聞きました!



- Q アダプテッドスポーツについて教えてください。
- A 文字通り adapt(適合させる)という言葉の意味があるので、スポーツを実践者に合わせて行うものです。ルールや用具を工夫してみんながスポーツを楽しむことができます。
- Q 今回のイベントを開催する以前から、このような取り組みを行っていたのですか?
- A アダプテッドスポーツという名称は使いませんでした。岩見沢市身体障がい者福祉協会さんと連携して、レク・スポーツ大会を行ったり、昨年はウィルチェアラグビーの日本選手権の予選を誘致したりしました。また、隔週でアダプテッドスポーツクラブの活動を実施しています。
- Q 市民の皆さんに伝えたいことは?
- A 障がいのある方もない方も、一緒に「スポーツ」として楽しんでもらうということが、まず一歩かと思っています。今後もイベントなどを通して、アダプテッドスポーツを理解してもらいたいです。



北海道教育大学岩見沢校
アダプテッドスポーツ研究室
大山祐太講師

どんな競技があるの?

ラグビーやアイスホッケー、バスケットボールなどの要素を取り入れ、車椅子同士が激しくぶつかり合うウィルチェアラグビー、選手が車椅子に乗って競技する以外は、一般のバスケットボールとほぼ同じルールで行われる車椅子バスケットボール、目隠しをした選手が鈴の入ったボールでゴールを狙うゴールボールなど、さまざまなスポーツがあります。

特に、ウィルチェアラグビーは、5月22日(金)に千葉で行われた、2015ジャパンパラウィルチェアラグビー競技大会で、イギリス、ニュージーランド、デンマークと熱戦を繰り広げ、見事優勝を収めました。現在日本は、世界ランキング4位の實力を持ち、今後、パラリンピックで、メダルが期待できる種目です。

ウィルチェアラグビーの台宿が来た

北海道在住で、ウィルチェアラグビー日本代表強化指定選手として世界で活躍している池崎大輔選手が、北村自然体験宿泊学習館「ぱる」で合宿を行いました。

この合宿には、池崎選手の呼びかけで、一般社団法人日本ウィルチェアラグビー連盟の会長をはじめ、他の日本代表強化指定選手9人が参加しました。

パラリンピックの台宿誘致に向けて

市は、2020年東京パラリンピックの各国代表の合宿誘致に積極的に取り組んでいます。

岩見沢市は、涼しく快適な夏の気候に恵まれ、道内主要都市や空港に近いという地理的な利点があります。また、北海道教育大学岩見沢校のパラスポーツに関するノウハウや最新設備の体育館など、豊富な人材や施設環境が整備されています。

パラリンピック合宿誘致は岩見沢市の魅力を世界に発信する良い機会であり、市民の皆さんにパラリンピックの競技を身近に見て、感じていただくことで、パラスポーツの魅力が伝えたいと考えています。

また、合宿誘致を障がい者福祉の推進、さらには経済の活性化や地域振興につなげ、長期的な展望を見据えて取り組んでいきます。

問合せ 市教委生涯学習・文化・スポーツ振興課